

2014年2月21日

楽 天 E d y 株 式 会 社
三 菱 U F J ニ コ ス 株 式 会 社
J R 東 日 本 メ カ ト ロ ニ ク ス 株 式 会 社

クラウド型マルチ決済システム「J-Mups (ジェイマップス)」で プリペイド型電子マネー「楽天 Edy (エディ)」が利用可能に！

JR 東日本メカトロニクス株式会社（東京都渋谷区、椎橋章夫社長）と三菱 UFJ ニコス株式会社（東京都千代田区、和田哲哉社長）はこの度、共同運営のクラウド型マルチ決済システム「J-Mups(ジェイマップス)」で、楽天 Edy 株式会社（東京都品川区、穂坂雅之社長）のプリペイド型電子マネー「楽天 Edy (エディ)」の取り扱いを決め、三菱 UFJ ニコスは2月24日に加盟店募集を開始します。

「楽天 Edy」は楽天グループのプリペイド型電子マネーです。発行枚数は累計約8,000万枚（平成26年1月時点）にのぼり、「楽天 Edy」が搭載されたカードや「おサイフケータイ®」にあらかじめチャージ（入金）しておく、専用端末にタッチするだけで、「シャリ〜ン♪」とスムーズに決済が完了。全国のコンビニエンスストアやドラッグストアなど約37万カ所（平成26年1月時点）の楽天 Edy 加盟店で利用が可能です。

なお、「J-Mups」は専用のコンピューターサーバーに各決済機能を集約し、加盟店に設置の決済端末やPOSからインターネット経由で利用（決済）できる仕組みで、平成24年7月にサービスを開始しました。従来、加盟店が新たな電子マネーや販売促進サービス（ポイントプログラム等）の取り扱いを開始するには、決済端末の入れ替えやPOSシステムの改修などが必要でしたが、本システムでは簡便な手続きにより、低コストで迅速な導入が可能となっています。

「J-Mups」は「クレジットカード」「銀聯カード」「Suica を含む交通系電子マネー」「ジェイデビット (J-Debit)」「iD (アイディ)」「QUICPay (クイックペイ)」「WAON」「楽天 Edy」の最大8種類の決済サービスが取り扱い可能となります。

JR 東日本メカトロニクスと三菱 UFJ ニコスは、加盟店が求めるさまざまな決済手段に対応するため、今後も、「J-Mups」の付加価値を一層高め、次世代を担う決済基盤の確立を目指していきます。

以上

- * 「Suica」は東日本旅客鉄道の登録商標です。
- * 「おサイフケータイ」「iD」は株式会社NTTドコモの登録商標または商標です。
- * 「QUICPay」は株式会社ジェーシービーの登録商標です。
- * 「楽天 Edy」は楽天 Edy 株式会社で運営するプリペイド型電子マネーサービスです。
- * 「WAON」はイオン株式会社の登録商標です。

■ 「J-Mups」導入に関する加盟店様からのお問い合わせ先

三菱 UFJ ニコス加盟店デスク TEL0570-00-2700

JR 東日本メカトロニクス株式会社 営業本部 J-Mups 事業部 TEL03-5365-3628

オフィシャルサイト <http://j-mups.com>

参考資料

■ 「J-Mups (ジェイマップス)」の概要

(1) 主な特長

- ①拡張性：電子マネー（交通系・iD・QUICPay・楽天 Edy・WAON）・クレジットカード・銀聯カード・ジェイデビット(J-Debit) といった決済サービスの他、各種規格の電子マネーにも対応可能。加盟店独自のポイントプログラムやクーポン等のサービス機能も搭載可能。
- ②低価格：決済端末、非接触型リーダーライターともに従来に比べ低価格。インターネット回線を利用して接続することで、通信コストの削減も実現。
- ③高セキュリティ：端末側にセンシティブ情報を残さない安全性に優れた設計。PCI - DSS に準拠。
- ④高速処理：クレジットカードの処理速度が1～2秒（一般的なアナログ回線の場合10～20秒）

(2) 端末イメージ



以上